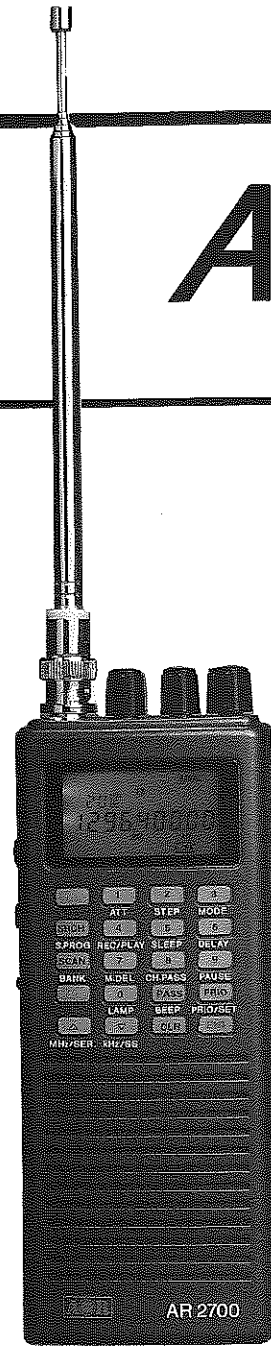




The New Concept

AR2700

取扱説明書



株式会社 エーオーアール

〒111 東京都台東区三筋 2-6-4

Tel. 03-3865-1681

Fax. 03-3862-9927



AR 2700

[はじめに]

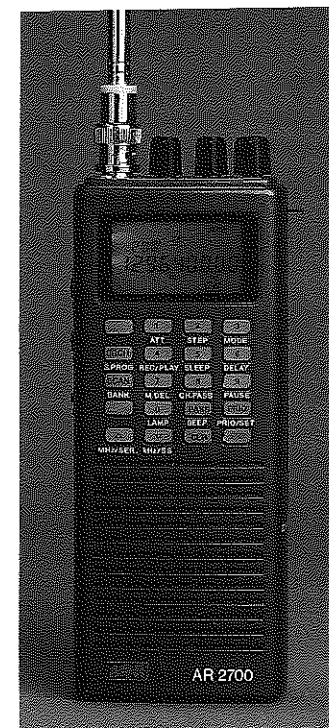
このたびは、エーオーアールのワイドレンジ・多機能ハンディレシーバー『AR2700』をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

[付属品を確かめましょう]

『AR2700』には、本体のほかに以下の付属品が添付されていますので、ご使用になる前に内容をお確かめください。

- ◎ACアダプター
- ◎カーアダプター
- ◎単三形ニッカド電池4本
- ◎ロッドアンテナ
- ◎ハンドストラップ
- ◎ベルトクリップ
- ◎取扱説明書
- ◎保証書



知りたい内容からチェックしたい人のための 「AR2700」お役立ちINDEX

【はじめに／付属品を確かめましょう】	1
[A] AR2700の特長と使用上の注意についての情報	
A-1 AR2700の特長について	4
A-2 使用上の注意について	
1) 置き場所について	5
2) 取り扱いについて	5
3) 電源について	5
4) アンテナについて	6
5) リセット操作について	6
6) 本機の運用について	6
A-3 各部の名称とはたらきについて	
1) 上面、前面、右側面各部	6
2) 左側面、裏面各部	7
3) ディスプレイ部	7
4) キーボード部 (ダイレクト入力キー)	8
5) キーボード部 ([2nd F]キーを押してから使用するキー)	10
[B] AR2700の操作方法についての情報	
B-1 基本操作について	12
B-2 各選局モードの操作法	
1) ダイアルモード	12
2) ダイアル・サーチモード	13
3) プログラム・サーチモード	14
★ ディレイ・タイムの設定	16
4) メモリー・チャンネルモード	16
5) メモリー・スキャンモード	19
6) プライオリティ・チャンネルモード	21
★ インターバル・タイムの設定	22

B-3 ファンクションキーの使い方	
1) ステップ (STEP) キー	23
2) ポーズ (PAUSE) キー	23
3) 周波数パス (PASS) キー	23
4) スリープ (SLEEP) キー	25
5) MUSIC機能について	25

[C] AR2700のオプションについての情報	
C-1 録音ユニットについて	26
C-2 コントロール・ユニットについて	26
C-3 各種アンテナ等について	26
[D] AR2700の初期設定とおもな仕様等についての情報	
D-1 メモリー・データの初期設定について	
1) チャンネル・メモリー一覧表	27
2) サーチ・バンク一覧表	29
D-2 AR2700のおもな仕様について	30
D-3 故障かな?と考えるまえにチェックする項目について	31
D-4 アフターサービスについて	32

[A] AR2700の特長と使用上の注意についての情報

A-1 AR2700の特長について

AR2700は、受信したい周波数を入力するだけで、即、受信ができるプログラムモード機能搭載の、ニューコンセプト・ワイドレンジ・ハンディレシーバーです。情報をスピーディーにキャッチする機能を満載して、抜群の操作性を実現しています。

●ディスプレイ表示部に大型のLCDを採用

各種の操作状態が一目で確認できる、大型LCDを採用していますので、受信周波数や受信モードなどの設定も見やすく、簡単にできます。

●ワイドレンジ・ハンディレシーバー

受信周波数は、100kHz~1300MHzまでのワイドレンジをカバー。
受信モードは、ワイドFM (WFM)・ナローFM (NFM)・AMです。

●受信に便利なプログラムモードを搭載

受信したい周波数を入力するだけで、受信モードとステップ周波数が自動設定される「プログラムモード」機能を搭載しているため、即、受信ができます。わざわざ受信モードやステップ周波数の設定は不要です。

●パソコン用インターフェイス端子を搭載

オプションのコントロール・ユニット (CU8232) をパソコンに接続して、多様な活用ができます。別売のPCソフトを使用すると、PCレシーバーになります。

●メモリーに10バンク、計500チャンネルを装備

メモリーチャンネルは、50チャンネル×10バンクの計500チャンネルが設定可能です。各バンクにサーチ・プログラムが設定できます。

●使い易さを考えた4電源方式

付属の単三形ニッカド電池、市販の単三形アルカリ乾電池、AC100V電源、DC12Vカーアダプターの4電源が使用できます。

●デジタル録音がオプションで使える

オプションの録音ユニット (RU2700) を取り付けると、約20秒の録音ができます。録音した内容は何回でも再生できるので、確実に情報が把握できます。

●その他の便利な機能

- ◆チューニングダイヤルでスピーディーな操作ができます。
- ◆電波の強さを示す信号強度計 (Sメーター) を装備しています。
- ◆各種の多様な選局モード (ダイヤルモード、ダイヤル・サーチモード、プログラム・サーチモード、メモリー・チャンネルモード、メモリー・スキップモード、プライオリティ・チャンネルモード) を搭載しています。
- ◆あらゆる周波数と受信モードに応じた10種類のステップ周波数が用意されています。
- ◆受信したくない周波数をパスさせる機能を搭載しています。

- ◆誤って電源が入らないようキーロックも万全です。
- ◆電子式アッテネーターの採用で、強電界エリアでも音声が明瞭に聞き取れます。
- ◆キータッチ音のON/OFFの設定が選択できます。
- ◆ディスプレイとキーのバックライトは、約5秒後に消灯するよう省エネ設計されています。
- ◆大容量のEEPROMの採用で、バックアップの電池が不要です。
- ◆受信機の電源を一定時間後に切る、スリープ機能が搭載されています。

A-2 使用上の注意について

1) 置き場所について

次のような場所で、本機を使用したり、放置したりしないようにしてください。

- ◆炎天下の自動車の中や、直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなどの温度の高くなる場所。
- ◆湿度が非常に低い場所や、湿度が高く露がつく場所、ほこりや油煙が多い場所など。
- ◆無線機、テレビ、ラジオ、またはパソコンなどのデジタル機器の近く。また、自動車やビルの中央部などでは電波が弱くなり受信しにくくなります。

2) 取り扱いについて

- ◆持ち歩くときは、落下などの衝撃を与えないでください。
- ◆濡れた手で、ACアダプターなどの抜き差しはしないでください。
- ◆付属品以外のACアダプターや、カーアダプターは使用しないでください。
- ◆外部アンテナを使用中に雷が発生した場合は、直ちにアンテナを外してください。
- ◆本機が汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。シンナーやベンジンなどは、受信機の表面を痛めますので使用しないでください。
- ◆万一、本機に異常や不具合が起きたときは、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。

3) 電源について

本機は4電源方式をとっています。次のいずれかの方法でお使いください。

- ☆付属の単三形ニッカド電池 4本
- ☆市販の単三形アルカリ乾電池 4本
- ☆家庭用100V電源 (付属のACアダプターをお使いください)
- ☆付属の12Vカーアダプター

付属のニッカド電池は、付属のACアダプターを使って充電することができます。なお、付属のACアダプターを使って、受信機を長い間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜いてください。

4) アンテナについて

- ◆受信状態は使用する場所や、アンテナ、季節、昼夜などによって変化します。屋内や車でご使用の場合は、オプション (→P.26) または市販の外部アンテナを使用してください。
- ◆一つのアンテナですべての周波数を最適に受信することはできません。目的の周波数に調整されたアンテナや、方位を合わせたアンテナを使用することをおすすめいたします。
- ◆本機のアンテナ接続端子はBNC型、インピーダンスは50Ωです。

5) リセット操作について

- 次のような状態のときは、左側面のリセットスイッチをボールペンの先などで押して、リセットしてください。
- ◆電源スイッチを切っても、画面が消えず、何の操作もできない。
 - ◆電源スイッチを入れても、受信動作にならない。

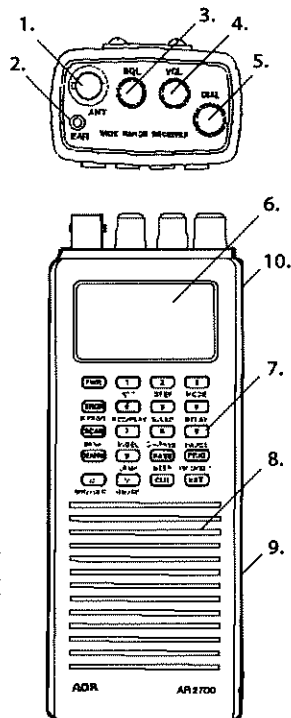
6) 本機の運用について

- ◆電波法上、受信した内容を第三者に漏らしたり、そのことによって行動を起こしたりすることは禁止されていますので、ご注意ください。

A-3 各部の名称とはたらきについて

1) 上面、前面、右側面各部

1. アンテナ (ANT) 端子
アンテナを接続する端子です。
2. イヤホン (EAR) ・外部S P端子
イヤホンや外部スピーカー用の端子です。この端子を使用すると、内蔵スピーカーの音声は切れます。
3. スケルチ (SQL) つまみ
無信号の「ザー」という雑音を消すことができます。無信号のときに左からゆっくり右に回していき、ちょうど雑音の消えるところまで回します。
4. 音量調節 (VOL) つまみ
右に回すと、音量が大きくなります。
5. ダイヤル (DIAL) つまみ
周波数を合わせたり、メモリー・チャンネルの選択、バンクや受信モードの選択などに使います。
6. ディスプレイ部 (→P.7)



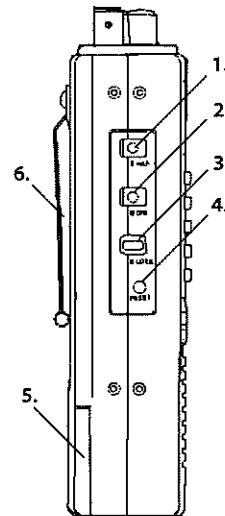
7. キーボード部 (→P.8)
8. スピーカー
9. 外部電源ジャック (DC12V) (→P.5)

付属のACアダプターやカーアダプターで使用する場合に接続します。これを使用すると、受信しながらニッカド電池を充電できます。長時間の受信をするときに使用します。

10. ハンドストラップ金具

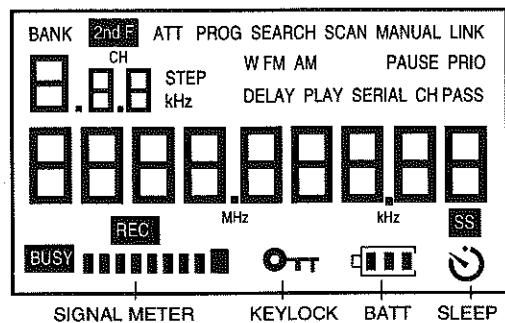
2) 左側面、裏面各部

1. セカンド・ファンクション (2nd F) キー
1つのキーに2つ以上の機能が割り当てられている場合に使うキーです。このキーを押すと、画面に〈2ndF〉と表示されます。
2. モニター (MONI) キー
受信信号が弱く音声途切れるときに、このキーを押すと聞き取りやすくなります。
3. キー・ロック (K.LOCK) キー (→P.25)
上に押し上げるとキー・ロックがONになり、各キーの操作を無効にします。ONのときは、画面に鍵のマークが表示されます。本機を持ち運ぶときは、電源をOFFしてから、キー・ロックをONにしておくと、電源が入らず安心です。
4. リセット (RESET) スイッチ (→P.6)
画面表示が異常なときなどの場合は、ボールペンの先などで押すと、リセットできます。
5. 電池カバー
内部に単三形乾電池か、付属のニッカド電池4本を入れます。録音ユニット (→P.26)、パソコン用コントロール・ユニット (→P.26) など、各種オプション用の端子もこの中にあります。
6. ベルトクリップ



3) ディスプレイ部

- ・BANK (バンク表示)
- ・2ndF (セカンド・ファンクション表示)
- ・ATT (アッテネーター表示)
- ・PROG (プログラム・モード表示)
- ・SEARCH (サーチ・モード表示)
- ・SCAN (メモリー・スキャンモード表示)
- ・MANUAL (マニュアル・モード表示)



- ・ LINK (リンク表示) (→P.19)
- ・ WFM/FM/AM (ワイドFM、ナローFM、AMモード表示)
- ・ PAUSE (ポーズ・スキャン機能表示)
- ・ PRIO (プライオリティ・チャンネルモード表示)
- ・ 00CH (チャンネル表示)
- ・ STEP(kHz) (ステップ周波数表示)
- ・ DELAY (ディレイ機能表示)
- ・ PLAY (録音再生表示)
- ・ SERIAL (シリアル表示)
- ・ CH PASS (チャンネルパス表示)
- ・ 8888.888.88 (受信周波数表示)
- ・ REC (録音表示)
- ・ SS (スクランブル解読表示)
- ・ BUSY (スケルチON表示)
- ・ SIGNAL METER (信号強度表示)
- ・ KEY LOCK (キー・ロック表示)
- ・ BATT (バッテリー残量表示)
- ・ SLEEP (スリープ機能表示)

4) キーボード部 (ダイレクト入力キー)

1. 電源 (PWR) キー

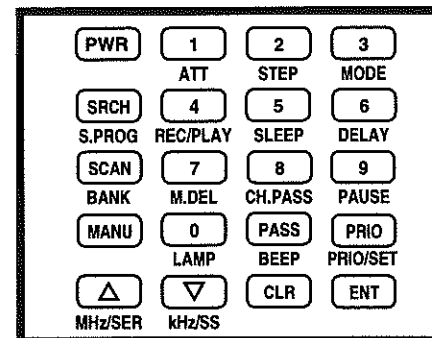
側面の [K.LOCK] キーが下にある状態で、このキーを1.5秒以上押すと電源が入ります。さらにもう一度同じように1.5秒以上押すと電源が切れます。

2. サーチ (SRCH) キー (→P.14)

あらかじめ0～9の各バンクに設定した周波数範囲内で交信局を探するときや、本機の受信周波数範囲内で交信局を探すときに使用します。一度押してサーチを始め、もう一度押すと解除されます。

3. スキャン (SCAN) キー (→P.19)

あらかじめ設定したメモリー・チャンネルを順次自動選局スキャンするこ



とができます。一度押してスキャンを始め、もう一度押すと解除されます。

4. マニュアル (MANU) キー (→P.12)

各種動作をストップさせるときや、手動で受信局を入力 (マニュアル選局) するときに使用します。

5. Δ (UP) ・ MHz キー

- ・ 周波数入力後などに一度押すと周波数が画面表示のステップ幅で1ステップ上に移動します。また0.5秒以上押し続けると、その間早送りします。
- ・ メモリー呼び出しやサーチ・パス周波数を呼び出したときに一度押すと、次のメモリー・チャンネルやサーチ・パス周波数が表示されます。さらに、0.5秒以上押し続けるとその間早送りします。
- ・ サーチやスキャンのときは強制移動キーとしてはたらき、方向指定キーになります。
- ・ 受信周波数をMHz単位で入力するときに使用します。(MHz単位の周波数入力時の確定キーとなります。)
- ・ 周波数ステップや受信モードを設定中に押すことで、希望する周波数ステップや受信モードを選択することができます。
- ・ 周波数メモリー・チャンネルの設定途中でクリア・キーを一度押した後に押すと、訂正する桁を移動することができます。

6. ∇ (DOWN) ・ kHz キー

- ・ 受信周波数をkHz単位で入力するときに使用します。(kHz単位の周波数入力時の確定キーとなります。)
- ・ UPキーと逆方向のはたらきをします。

7. テンキー (0～9キー) 部

周波数とメモリー・チャンネルの入力をするときや、各バンクを呼び出すときに使用します。

8. 周波数パス (PASS) キー (→P.23)

サーチしているとき、受信したくない周波数を周波数パス・チャンネルにメモリーするときに使用します。

9. クリア (CLR) キー

周波数や、メモリー・チャンネルの設定途中で、入力した数値を訂正するときに使います。

10. プライオリティ (PRIO) キー (→P.21)

現在受信している局とは別に、常に聞き逃したくない局を優先的に受信するときに使います。

11. エンター (ENT) キー

受信周波数、受信モード、サーチ、メモリー・チャンネルなどを入力したあと、そのデータを確定させるときに使います。

5) キーボード部 ([2nd F] キーを押してから使用するキー)

1. アッテネーター (ATT) キー

近くで強い電波が出ているとき、目的の電波が受信しにくい場合があります。この場合、アッテネーター (減衰器) を入れるとよく聞こえる場合があります。[2nd F] キーを押してからこのキーを押して、ON/OFFさせます。ONの場合画面に<ATT>と表示されます。

2. ステップ (STEP) キー (→P.23)

ステップ周波数を設定するキーです。本機ではプログラム・モードに設定しておけば、受信周波数に応じてステップ周波数を自動的に設定してくれるので、この操作は必要ありません。

3. モード (MODE) キー

受信モード (PROG、NFM、WFM、AM) を選択するときに使います。NFMは画面では<FM>と表示されます。本機では、プログラム<PROG>モードを選択しておけば、受信周波数に応じて受信モードとステップ周波数が自動的に設定されます。

4. サーチ・プログラム (S.PROG) キー (→P.14)

あらかじめスタート周波数とエンド周波数を決めて、その間を繰り返しサーチすることができます。このプログラム・サーチモードを設定するときに使います。

5. 録音・再生 (REC/PLAY) キー (→P.26)

オプションの録音ユニットを取り付けると、受信電波を約20秒間録音することができます。その際、このキーで録音・再生を設定します。

6. スリープ (SLEEP) キー (→P.25)

受信機の電源を一定時間後に、自動的に切るときに使います。

7. ディレイ (DELAY) キー (→P.16)

サーチやスキャンの作動時、受信している電波が切れると、次の受信へと進みますが、この間の時間 (ディレイ・タイム) を設定するときに使います。

8. バンク (BANK) キー

本機には0~9までの10バンク (各50チャンネル) が用意されています。そのバンクを切り替えるときに使います。

9. メモリー削除 (M.DEL) キー (→P.21)

各チャンネルにメモリーされたデータを削除するときに使います。

10. チャンネル・パス (CH.PASS) キー (→P.20)

メモリーしたチャンネルをパスさせてメモリー・スキャンさせるときに使います。この機能を使うと、そのとき受信したい局だけを効率的に選局できます。

11. ポーズ (PAUSE) キー (→P.23)

サーチやスキャン作動時、一定時間受信した後、次のサーチやキャンをさせることができます。この一定時間 (ポーズ・タイム) を設定するときや、ポーズ・スキャン機能を作動させるときに使います。

12. ランプ (LAMP) キー

ディスプレイ部のバックライトを点灯するときに使います。電池の消費を防ぐため約5秒で消えます。

13. ビープ (BEEP) キー

キーを押したときに出るビープ音をON/OFFするときに使います。

14. プライオリティ・セット (PRIO/SET) キー (→P.22)

プライオリティ (優先) チャンネルにメモリーしたい受信周波数を設定するときや、プライオリティ・チャンネルをチェックしにいく時間 (インターバル・タイム (→P.22)) を設定するときに使います。

15. シリアル (SER) キー

オプションのコントロール・ユニット (CU8232) を取り付けると、パソコンを使って、リモート・コントロールすることができます。その設定時に使います。

[B] AR2700の操作方法についての情報

B-1 基本操作について

1. 付属のアンテナ（または市販のアンテナ）を、アンテナ端子に差し込み、アンテナコネクタを時計方向に1/4回転させ、固定させます。
2. 電源にACアダプターを使用するときは、コンセントに（カーアダプターを使用するときは、シガーライターに）きちんと差し込んでください。
3. 電源スイッチを入れる前に、スケルチつまみを時計方向の12時の位置に、また、音量つまみを時計方向の10時くらいの位置にしておきます。
4. 側面の [K.LOCK] キーを押し下げてキーロックをはずし、前面の [PWR] キーを押し、電源を入れます。

以上の操作をしたあと、受信周波数の設定をします。本機には、いろいろな選局モードが用意されていますので、それぞれの選局モードにおける操作方法を十分理解して、活用してください。

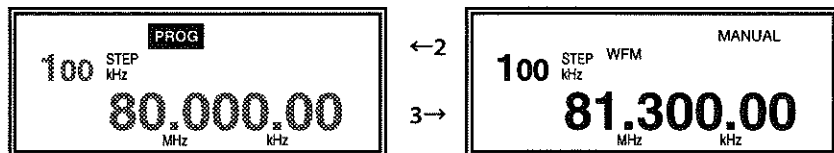
B-2 各選局モードの操作法

1) ダイアルモード

[MANU] キーを押したときの選局モードを、ダイアルモードといいます。受信周波数は、テンキー、[Δ] [▽] (UP/DOWN) キー、またはダイヤルつまみによって、変更することができます。

◎例1 WFM 81.3MHz (J-WAVE) を選局する場合

1. [MANU] キーを押す。
2. [2nd F] [MODE] キーを順に押す。表示が (PROG) になるように、[Δ] [▽] キーか、ダイヤルつまみで合わせ、プログラムモードにする。(PROG) が点滅したところで、[ENT] キーを押す。



3. [8] [1] [Δ(MHz)] [3] [ENT] キーを順に押す。これで81.3MHzが入力され、(PROG) モードの場合、自動的に (MANUAL) (WFM) (STEP100kHz) が設定される。感度があれば音声が聞こえてくる。もし、キー入力を間違えたときは、[CLR] キーを押して、初めから入力直す。

注) **PROG** などの白抜き文字は、その表示が点滅していることを示しています。また、**100** などの網のかかった数字は表示の一例を示しています。

◎例2 AM 954kHz (TBSラジオ) を選局する場合

1. [MANU] キーを押す。
2. [2nd F] [MODE] キーを押す。表示が (PROG) になるように、[Δ] [▽] キーか、ダイヤルつまみで合わせ、プログラムモードにする。(PROG) が点滅したところで、[ENT] キーを押す。
3. [9] [5] [4] [▽(kHz)] [ENT] キーを順に押す。これで954kHzが入力され、(PROG) モードの場合、自動的に (MANUAL) (AM) (STEP9kHz) が設定される。感度があれば音声が聞こえてくる。



◎例3 FM 383.425MHz (日本道路公団波) を選局する場合

1. [MANU] キーを押す。
2. [2nd F] [MODE] キーを押す。表示が (PROG) になるように、[Δ] [▽] キーか、ダイヤルつまみで合わせ、プログラムモードにする。(PROG) が点滅したところで、[ENT] キーを押す。
3. [3] [8] [3] [Δ(MHz)] [4] [2] [5] [ENT] キーを順に押す。これで383.425MHzが入力され、(PROG) モードの場合、自動的に (MANUAL) (FM) (STEP25kHz) が設定される。感度があれば音声が聞こえてくる。

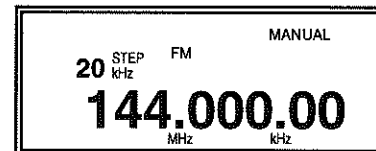


2) ダイアル・サーチモード

ダイアルモードのとき、[Δ] キー、または [▽] キーを0.5秒以上押すと、ダイアル・サーチモードに入ることができます。プログラムモードにしておくと、サーチするステップ周波数は自動的に設定されます。

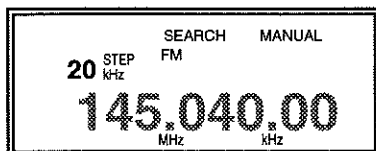
◎例 144MHzから上側にサーチする場合 (アマチュア無線)

1. [MANU] キーを押す。
2. [2nd F] [MODE] キーを押す。表示が (PROG) になるように、[Δ] [▽] キーか、ダイヤルつまみで合わせ、プログラムモードにする。(PROG) が点滅したところで、[ENT] キーを押す。
3. [1] [4] [4] [Δ(MHz)] [ENT] キーを順に押す。これで144MHzが入力され、(PROG)



モードの場合、自動的に〈MANUAL〉(FM)〈STEP20kHz〉が設定される。

4. [△] キーを0.5秒以上押す。〈SEARCH〉と表示され、ダイヤル・サーチモードになり、サーチを開始する。感度があったところで、サーチが止まる。



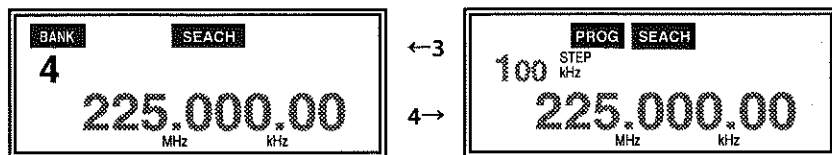
5. ダイヤル・サーチを中止するときは、[MANU] キーを押す。再びサーチを再開させたいときは、[△] [▽] キーを0.5秒以上押せばよい。

3) プログラム・サーチモード

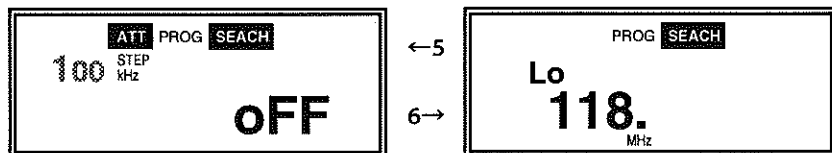
あらかじめ受信周波数の下限と上限を決めて、その間を繰り返しサーチするモードを、プログラム・サーチモードといいます。

◎例1 バンク4で、118~136MHzの航空移動無線 (AM) を、プログラムモードでサーチする場合

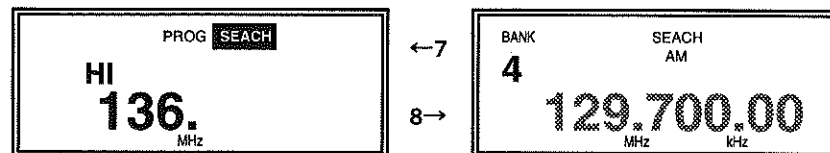
1. [SRCH] キーを押し、表示が〈SEARCH〉となるようにする (サーチモードになる)。
2. [2ndF] [S.PROG] キーをチョンと押す。〈SEARCH〉と〈BANK〉が点滅し、プログラム・サーチモードになる。
3. [4] キーを押し、バンク4を設定する。(このとき、[△] [▽] キーか、ダイヤルつまみでバンクを設定してもよい。)そして、[ENT] キーを押す。



4. 表示が〈PROG〉になるように、[△] [▽] キーを押す、プログラムモードにする。〈PROG〉が点滅したところで、[ENT] キーを押す。(この場合、STEP周波数は、自動的に設定される。)
5. 〈ATT〉が点滅するので、アッテネータのON、OFFを [△] [▽] キーで設定する。ここでは、〈OFF〉を表示したところで、[ENT] キーを押す。



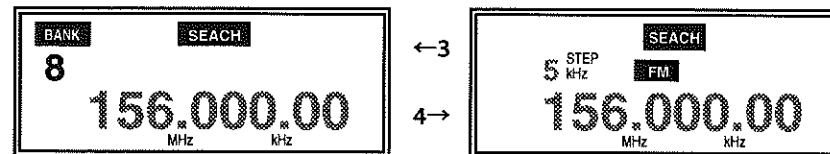
6. 〈Lo〉と表示されるので、[1] [1] [8] [△ (MHz)] [ENT] キーを順に押す。これで下限周波数の118MHzが入力される。
7. 次に、〈HI〉と表示されるので、[1] [3] [6] [△ (MHz)] [ENT] キーを順に押す。これで上限周波数の136MHzが入力される。



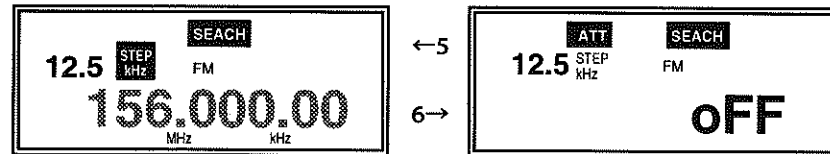
8. スケルチつまみを右に回しノイズをカットすると、サーチがスタートする。信号をキャッチしてサーチが止まった場合、その信号を聞きたくなければ、[△] [▽] キーを押してサーチを再開させる。
9. サーチを中止する場合、[SRCH] キーを押せばよい。もう一度 [SRCH] キーを押すと、サーチを再開させることができる。

◎例2 バンク8で、380~381MHzの小電力型コードレスホン (FM) を、12.5kHzステップでサーチする場合

1. [SRCH] キーを押し、表示が〈SEARCH〉となるようにする。(サーチモードになる。)
2. [2ndF] [S.PROG] キーをチョンと押す。〈SEARCH〉と〈BANK〉が点滅し、プログラム・サーチモードになる。
3. [8] [ENT] キーを押し、バンク8を設定する。

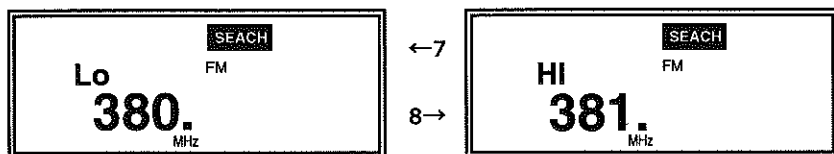


4. 表示が〈FM〉になるように、[△] [▽] キーを押す。〈FM〉が点滅したところで、[ENT] キーを押す。
5. 次にステップ周波数が12.5kHzになるように、[△] [▽] キーを押す。〈STEP12.5kHz〉と表示されたところで、[ENT] キーを押す。



6. 〈ATT〉が点滅するので、アッテネータのON、OFFを [△] [▽] キーで設定する。ここでは、〈OFF〉を表示したところで、[ENT] キーを押す。

7. 〈Lo〉と表示されるので、[3][8][0][Δ(MHz)][ENT]キーを順に押す。これで下限周波数の380MHzが入力される。



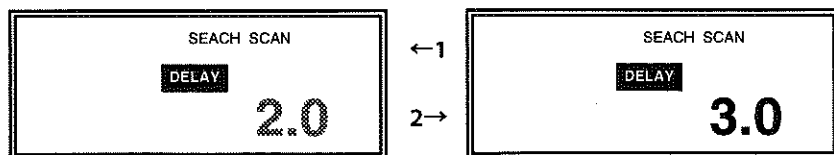
8. 次に、〈HI〉と表示されるので、[3][8][1][Δ(MHz)][ENT]キーを順に押す。これで上限周波数の381MHzが入力される。
9. スケルチつまみを右に回しノイズをカットすると、サーチがスタートする。

★ ディレイ・タイムの設定

ダイヤル・サーチ、プログラム・サーチ、またはメモリー・スキャンが作動しているとき、信号を受信して、その信号が停止してから、次の信号をサーチしていくまでの時間を、ディレイ・タイムといいます。本機では、このディレイ・タイムを0~9.9秒の範囲で設定することができます。初期設定は、2秒になっています。

◎例 ディレイタイムを3秒に設定する

1. [2ndF][DELAY]キーを押す。〈DELAY〉が点滅する。



2. [3][0][ENT]キーを順に押す。(3.5秒に設定したいときは、[3][5][ENT]と押す。)

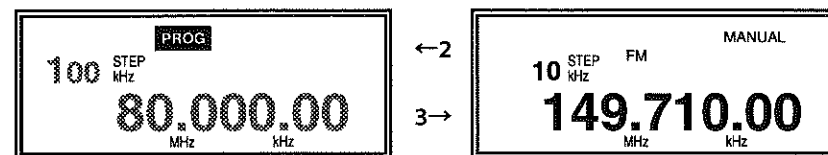
4) メモリー・チャンネルモード

AR2700には、10のバンクにそれぞれ50チャンネルずつ、合計500チャンネルのメモリーが用意されています。よく受信する局の周波数をメモリー・チャンネルに入力しておけば、選局がスピーディに行えます。

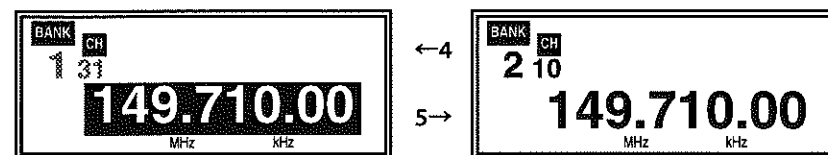
◎例1 FM149.71MHz(東京消防庁受令波)を、バンク2のチャンネル10にメモリーする場合

1. [MANU]キーを押す。

2. [2ndF][MODE]キーを押す。表示が〈PROG〉になるように、[Δ][▽]キーか、ダイヤルつまみで合わせ、プログラムモードにする。〈PROG〉が点滅したところで、[ENT]キーを押す。



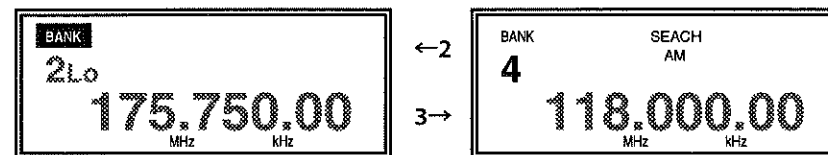
3. [1][4][9][Δ(MHz)][7][1][ENT]キーを順に押す。
4. [ENT]キーを0.5秒以上押す。これでバンクとチャンネル番号の設定モードにはいる。



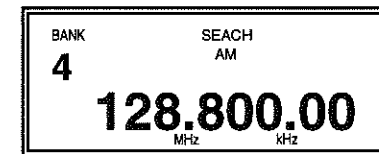
5. [2][1][0][ENT]キーを順に押す。これでバンク2のチャンネル10に、FM149.71MHzがメモリーされる。(バンクとチャンネル番号は続けて入力する。)

◎例2 バンク4のサーチモードで受信した、AM128.8MHz(羽田ATIS)を、バンク4のチャンネル01にメモリーする場合

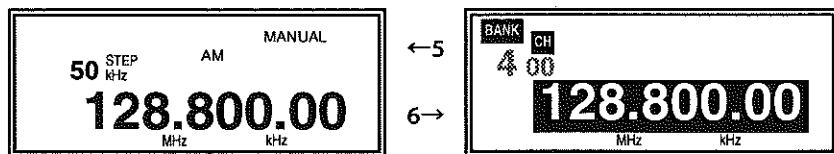
1. ここではP.14の例1を設定しているものとする。[SRCH]キーを押し、表示が〈SEARCH〉となるようにする(サーチモードにする)。
2. [2ndF][BANK]キーを押す。〈BANK〉が点滅する。



3. [4]キーを押し、バンク4を設定する。
4. スケルチつまみを右に回しノイズをカットすると、サーチがスタートする。AM128.8MHzをキャッチしてサーチが止まったとする。

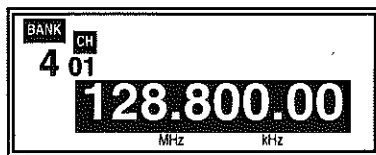


5. [SRCH] キーを押す。表示が〈MANUAL〉となる。



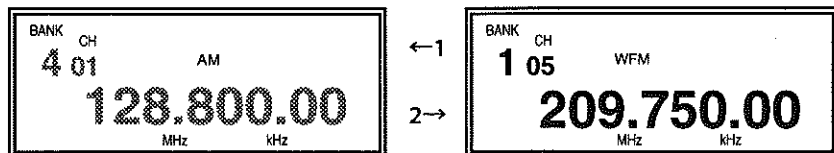
6. [ENT] キーを0.5秒以上押す。

7. [4][0][1][ENT] キーを順に押す。これでバンク4のチャンネル01にAM128.8MHzがメモリーされる。



◎例3 バンク1のチャンネル05を呼び出す場合

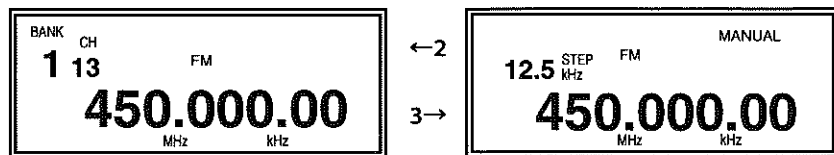
1. [SCAN] キーを押す。



2. [1][0][5] キーを押す。初期設定の場合、WFM209.75MHz (VHFテレビ10CH音声) が受信できる。この場合、[1]を入力してバンク1を設定した後、[△][▽]キーか、ダイヤルつまみでチャンネル番号を選択することもできる。

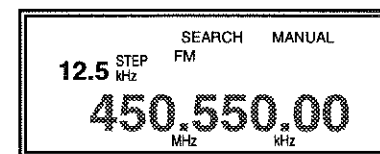
◎例4 バンク1のチャンネル13を呼び出し、その周波数をもとにサーチする場合

1. [SCAN] キーを押す。
2. [1][1][3] キーを押す。初期設定の場合、FM450MHz (タクシー無線) がメモリーされている。



3. [SCAN] キーを押す。表示が〈MANUAL〉となる。

4. [△][▽] キーを0.5秒以上押すと〈SEARCH〉と表示され、ダイヤル・サーチモードとなる。(この場合は、450MHzより上側にサーチするため[△]キーを押す。)

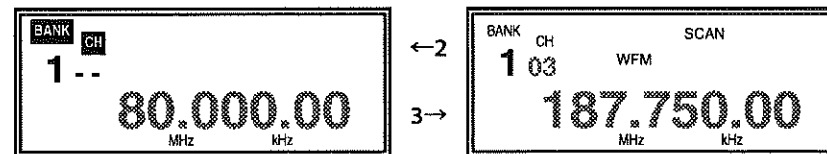


5) メモリー・スキャンモード

各バンクのメモリー・チャンネルを繰り返しスキャンさせるのが、メモリー・スキャンモードです。2つ以上のバンクを連続してスキャンさせることもできます。これをスキャンリンクといいます。スキャンの動作中、信号を受信したときだけスキャンをストップさせるにはスケルチの調整が必要です。まず、スケルチつまみを一番左まで回し、「ザー」という音を出します。次に、つまみを少しずつ右に回し、「ザー」という音が消える位置で止めます。この位置にスケルチつまみを設定しておくこと、信号を受信したときだけスキャンがストップします。

◎例1 バンク1のメモリー・チャンネルをスキャンする場合

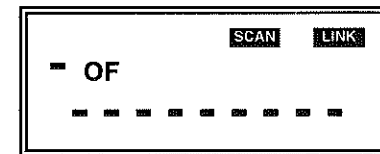
1. [SCAN] キーを押す。左上に〈BANK〉と表示される。
2. [1] キーを押す。バンク1を設定する。



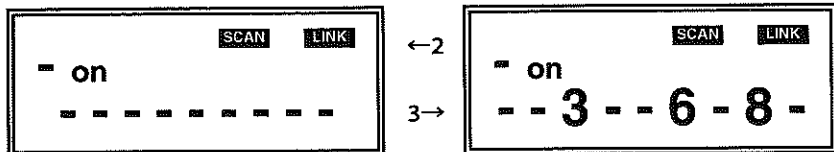
3. [△][▽] キーを0.5秒以上押すと〈SCAN〉と表示され、メモリー・スキャンモードとなる。
4. 信号を受信し、スキャンがストップしたとき、スキャンを再開させるには、再び[△][▽]キーを押す。
5. メモリー・スキャンを中止するときは、[SCAN] キーを押す。表示が〈MANUAL〉となる。

◎例2 バンク3、6、8のメモリー・チャンネルを連続してスキャンする場合

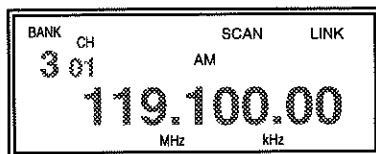
1. [2ndF][BANK] キーを0.5秒以上押す。〈SCAN〉と〈LINK〉の表示が点滅し、スキャンリンク設定モードとなる。



2. [△] [▽] キーを押し、表示を (on) にする。

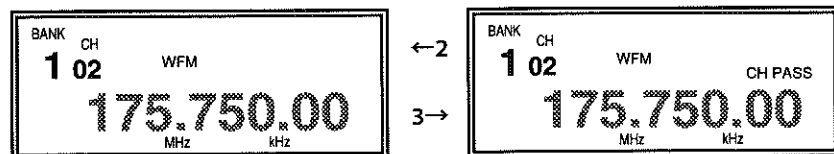


3. [3] [6] [8] [ENT] キーを順に押し、スキャンリンクさせるバンクを設定する。取り消すときは、もう一度そのバンクの数字を押せばよい。
4. [SCAN] キーを押す。次に、[3] か [6] か [8] のキーを押し、スキャンリンクを開始するバンクを設定する。
5. [△] [▽] キーを0.5秒以上押すと〈SCAN〉〈LINK〉と表示され、バンク3と6と8を繰り返してスキャンする。

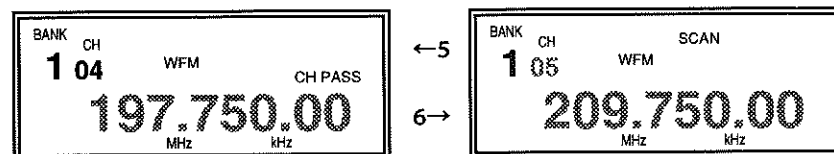


◎例3 バンク1のチャンネル02と04をパスさせてスキャンする場合

1. [SCAN] キーを押す。左上に〈BANK〉と表示される。
2. [1] [0] [2] キーを順に押し、バンク1のチャンネル02を呼び出す。



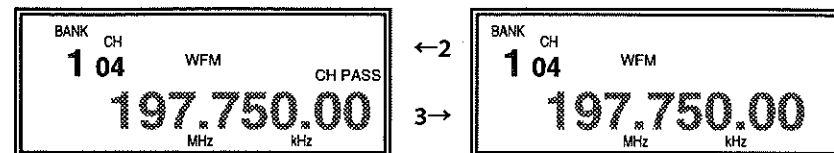
3. [2ndF] [CH.PASS] キーを押す。右端に〈CH PASS〉と表示される。
4. 続いて、[1] [0] [4] キーを順に押し、バンク1のチャンネル04を呼び出す。
5. [2ndF] [CH.PASS] キーを押す。右端に〈CH PASS〉と表示される。



6. [△] [▽] キーを0.5秒以上押すと〈SCAN〉と表示され、メモリー・スキャンモードとなる。

◎例4 バンク1のチャンネル04のチャンネルパスを解除する場合

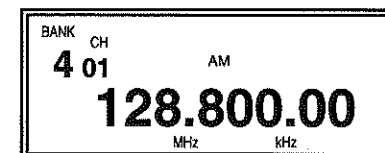
1. [SCAN] キーを押す。左上に〈BANK〉と表示される。
2. [1] [0] [4] キーを順に押しバンク1のチャンネル04を呼び出す。または、ダイヤルつまみを回し、バンク1のチャンネル04を呼び出す。



3. [2ndF] [CH.PASS] キーを押す。右端の〈CH PASS〉の表示が消え、チャンネルパスが解除される。

◎例5 バンク4のチャンネル01のメモリーを取り消す場合

1. [SCAN] キーを押す。左上に〈BANK〉と表示される。
2. [4] [0] [1] キーを順に押し、バンク4のチャンネル01を呼び出す。または、ダイヤルつまみを回し、バンク4のチャンネル01を呼び出す。
3. [2ndF] [M.DEL] キーを押す。これで、バンク4のチャンネル01のメモリーが消える。



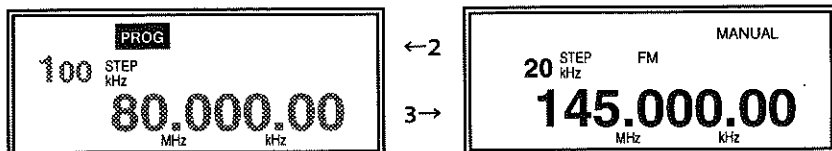
6) プライオリティ・チャンネルモード

現在受信している局とは別に、常に聞き逃したくない局を優先的に受信することのできるモードが、プライオリティ (優先) ・チャンネルモードです。このモードに入るには、常時受信していたい局の周波数とモードを、プライオリティ・チャンネルにメモリーしておく必要があります。プライオリティ・チャンネルモードに入ると、インターバル・タイム (プライオリティ・チャンネルをチェックしていく時間間隔) ごとに、プライオリティ・チャンネルから信号が出ているかどうか調べます。もし、信号が出れば、他の局を受信していても、強制的にプライオリティ・チャンネルを受信するようになります。

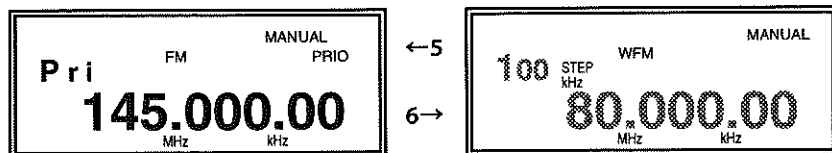
そして、プライオリティ・チャンネルの信号が途絶えると、また、元の局を受信し、インターバル・タイムごとに、プライオリティ・チャンネルをモニターします。

◎例 プライオリティ・チャンネルに、FM145.0MHzをメモリーして、プライオリティ受信する場合

1. [MANU] キーを押す。
2. [2nd F] [MODE] キーを押す。表示が (PROG) になるように、[Δ] [▽] キーか、ダイヤルつまみで合わせ、プログラムモードにする。
(PROG) が点滅したところで、[ENT] キーを押す。



3. [1] [4] [5] [Δ (MHz)] [ENT] キーを順に押す。
4. [2nd F] [PRIO/SET] キーをチョンと押す。これで、プライオリティ・チャンネルに、FM145.0MHzがメモリーされる。
5. [PRIO] キーを押す。右端に (PRIO) と表示され、プライオリティ・チャンネルモードに入っていることを示す。プライオリティ・チャンネルを受信しているときは、左側に (Pri) と表示される。



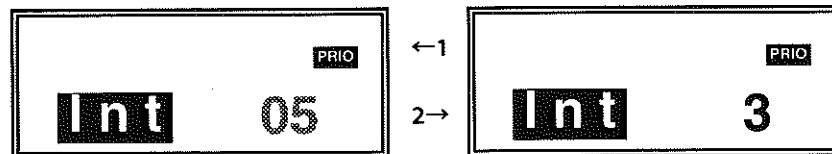
6. プライオリティ・チャンネルモードを解除するには、再び [PRIO] キーを押す。右端の (PRIO) の表示が消える。

★ インターバル・タイムの設定

インターバル・タイムは、1～99秒の範囲で設定することができます。初期設定は、5秒になっています。

◎例 インターバル・タイムを3秒に設定する場合

1. [2nd F] [PRIO/SET] キーを0.5秒以上押す。(PRIO) (Int) が点滅する。



2. [3] [ENT] キーを順に押す。これで、インターバル・タイムが3秒に設定される。

B-3 ファンクションキーの使い方

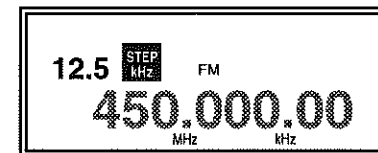
1) ステップ (STEP) キー

周波数を変化させるときの周波数間隔を設定するためのキーです。AR2700では、プログラムモードにしておけば、周波数と受信モードに応じたステップ周波数を自動的に設定してくれるので、この操作は必要ありません。手動でステップ周波数を設定するときは、つぎのステップ周波数のうちから選択することができます。

- ・WFMモード：50kHz、100kHz
- ・AM、FMモード：5kHz、6.25kHz、9kHz、10kHz、12.5kHz、20kHz、25kHz、30kHz、50kHz、100kHz

◎例 ステップ周波数を12.5kHzに設定する場合

1. [2nd F] [STEP] キーを順に押す。(STEP kHz) が点滅する。
2. 表示が (12.5kHz) になるように、[Δ] [▽] キーか、ダイヤルつまみで合わせる。[ENT] キーを押す。



2) ポーズ (PAUSE) キー

ダイヤル・サーチモード、プログラム・サーチモード、メモリー・スキャンモード作動時に、あらかじめ設定した時間 (ポーズ・タイム) だけ受信し、その後、次のチャンネル、または周波数をスキャンさせることができます。ポーズ・タイムは、1～99秒の範囲で設定できます。初期設定は5秒です。ポーズ・スキャン機能を作動させるには、[2nd F] [PAUSE] キーをチョンと押します。右端に (PAUSE) が表示されます。ポーズ・スキャン機能を解除したいときは、もう一度 [2nd F] [PAUSE] キーをチョンと押します。

◎例 ポーズ・タイムを3秒に設定する場合

1. [2nd F] [PAUSE] キーを1秒以上押す。(PAUSE) の表示が点滅する。
2. [3] [ENT] キーを押す。



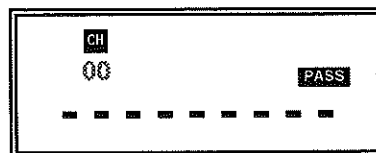
3) 周波数パス (PASS) キー

ダイヤル・サーチやプログラム・サーチをしているとき、受信したくない周波数ができます。その周波数を周波数パス・チャンネルにメモリーして、サーチの際、パスさせることができます。AR2700では、50チャンネル分の周波数パス・チャンネルが用意されています。ダイレクト選局や、マニュアル

選局のときは、周波数パス機能は作動しません。

◎例1 現在受信中の周波数を周波数パス・チャンネルにメモリーする場合

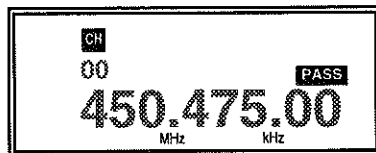
1. [PASS] キーを押す。自動的に周波数パス・チャンネル (00~49) の空きチャンネルを探し、そこに現在受信中の周波数をメモリーする。



2. サーチをしていて、受信したくない周波数がいくつも出てきたら、その度に、[PASS] キーを押す。ここにメモリーされた周波数は、サーチの際パスされる。

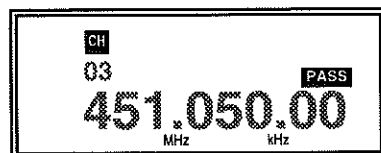
◎例2 周波数パス・チャンネルにメモリーされた周波数を確認する場合

1. [PASS] キーを1秒以上押す。(CH) と (PASS) の表示が点滅する。
2. [△] [▽] キーか、ダイヤルつまみで00~49チャンネルに順にメモリーされた周波数を確認できる。



◎例3 周波数パス・チャンネルにメモリーされた周波数を削除する場合

1. [PASS] キーを1秒以上押す。(CH) と (PASS) の表示が点滅する。
2. [△] [▽] キーか、ダイヤルつまみで削除したい周波数を表示させる。



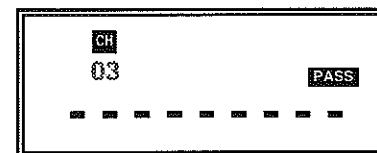
←2
3→



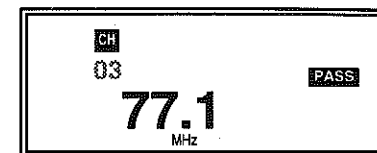
3. [0] [ENTER] キーを順に押す。表示チャンネルのデータが削除され、次のチャンネルのデータが、現チャンネルへ移行する。
4. いくつもの周波数パス・チャンネルのデータを削除したい場合は、この操作を繰り返す。

◎例4 パス周波数をテンキーで入力したい場合

1. [PASS] キーを1秒以上押す。(CH) と (PASS) の表示が点滅する。
2. [△] [▽] キーか、ダイヤルつまみで周波数表示が (- - - -) になるようにする。これが空きチャンネルになる。



←2
3→



3. 次に、パスしたい周波数を入力する。たとえば、77.1MHzを入力する場合は、[7] [7] [△ (MHz)] [1] [ENT] キーを順に押す。
4. パスさせたい周波数がいくつもあるときは、3.の操作を繰り返す。

4) スリープ (SLEEP) キー

受信機の電源を一定時間後に (1分から120分の範囲で)、自動的に切ることができます。これがスリープ機能です。この機能を使うには、まず、スリープ・タイムを設定しておきます。初期設定は60分です。

◎例1 スリープ・タイムを30分に設定する場合

1. [2ndF] [SLEEP] キーを1秒以上押す。右下に時計マークが点滅する。



←1
2→



2. [3] [0] [ENT] キーを順に押す。
3. [2ndF] [SLEEP] キーをチョンと押す。右下に時計マークが表示される。これで30分後に自動的に電源が切れる。

5) MUSIC機能について

AR2700には、隠された楽しい機能があります。これが、テンキーが鍵盤になるという、MUSIC機能です。電源ONの状態では、側面の [K.LOCK] キーを上上げると、キーのうち、左側の1列を除いた、[1] から [ENT] までの15個のキーがドレミを奏でる鍵盤になります。どのように使うかは、あなたのアイデア次第です。

なお電源を切る際は、側面の [K.LOCK] キーを下に下げてから、[PWR] キーを1.5秒以上押してください。

[C] AR2700のオプションについての情報

C-1 録音ユニットについて

オプションの録音ユニット (RU2700) を取り付けると、約20秒の録音ができます。録音した内容は何回でも再生することができます。録音ユニットは、裏面の電池カバーを開け、電池を外してから取り付けます。接続の仕方や操作方法は、録音ユニットに添付の取扱説明書をご覧ください。

C-2 コントロール・ユニットについて

AR8000用のオプションのコントロール・ユニット (CU8232) を取り付けると、2台のAR2700同士でバンク・データや、環境条件をコピーすることができます。これにより、多数のメモリー・チャンネルのデータなどを、そのつど打ち込まなくても、すべて同じデータをお互いに持つことができます。

(EEPROMの内容をすべてコピーします。)

またコントロール・ユニットを取り付けると、パソコンと通信ソフトまたは専用ソフトを使用して、AR2700を操作することもできます。接続の仕方や操作方法は、コントロール・ユニットに添付の取扱説明書をご覧ください。

C-3 各種アンテナ等について

本機に付属のロッドアンテナで、すべての周波数を最適に受信することはできません。目的の周波数に合ったオプションのアンテナが各種用意されていますので、ご利用ください。

◆DA3000 広帯域ディスコーンアンテナ

25MHz~2GHz / 屋外用 / 最長エレメント112cm / 15m同軸ケーブルコネクタ付

◆WA7000 広帯域受信専用屋外アンテナ

30kHz~2GHz / プリアンプ動作範囲 (30kHz~30MHz) / エレメント長約70cm / 15m同軸ケーブルコネクタ付

◆MA500 モービルアンテナ

25MHz~1300MHz / 自動車マグネットマウント / エレメント長約70cm / 4m同軸ケーブルコネクタ付

◆LA320 屋内用ループアンテナ

1.6~5.0MHz / 5.0~15MHz / 小型高周波増幅回路付

◆LA320L (200kHz~530kHz)

長波エレメント

◆LA320M (530kHz~1.6MHz)

中波エレメント

◆SC2700 ソフトケース

AR2700専用ソフトケース

[D] AR2700の初期設定とおもな仕様等についての情報

D-1 メモリー・データの初期設定について

次の表は、工場出荷時のメモリー・データの一覧表です。自分で新たにチャンネル・メモリーやサーチバンクを登録してしまうと、元のデータに戻すことはできません。元のデータに書き替えたい場合は、この表を参考にしてご自分で設定し直してください。

1) チャンネル・メモリー一覧表

CH	周波数(MHz)	MODE	STEP(kHz)	備考
000	0.594	PROG (AM)	9	NHK第1 (東京)
001	0.693	PROG (AM)	9	NHK第2 (東京)
002	0.810	PROG (AM)	9	FEN (東京)
003	0.954	PROG (AM)	9	東京放送 (TBS)
004	1.134	PROG (AM)	9	文化放送 (JOQR)
005	1.242	PROG (AM)	9	ニッポン放送 (JOLF)
006	1.422	PROG (AM)	9	アール・エフ・ラジオ日本
007	2.300	PROG (AM)	5	~2.495MHz: 短波放送局
008	3.200	PROG (AM)	5	~3.400MHz: 短波放送局
009	3.900	PROG (AM)	5	~4.000MHz: 短波放送局
010	3.925	PROG (AM)	5	ラジオたんぱ第1 (JOZ/JOZ4)
011	3.945	PROG (AM)	5	ラジオたんぱ第2 (JOZ5)
012	4.750	PROG (AM)	5	~5.060MHz: 短波放送局
013	5.950	PROG (AM)	5	~6.200MHz: 短波放送局
014	6.055	PROG (AM)	5	ラジオたんぱ第1 (JOZ2)
015	6.115	PROG (AM)	5	ラジオたんぱ第2 (JOZ6)
016	9.505	PROG (AM)	5	~9.900MHz: 短波放送局
017	9.595	PROG (AM)	5	ラジオたんぱ第1 (JOZ3)
018	9.760	PROG (AM)	5	ラジオたんぱ第2 (JOZ7)
019	11.650	PROG (AM)	5	~12.050MHz: 短波放送局
020	13.600	PROG (AM)	5	~13.800MHz: 短波放送局
021	15.000	PROG (AM)	5	J J Y
022	17.550	PROG (AM)	5	~17.900MHz: 短波放送局
023	21.450	PROG (AM)	5	~21.850MHz: 短波放送局
024	25.670	PROG (AM)	5	~26.100MHz: 短波放送局

CH	周波数(MHz)	MODE	STEP(kHz)	備考
025	26.965	PROG (AM)	5	C Bバンド
026	29.300	PROG (FM)	20	~29.900MHz: アマチュア無線
027	51.000	PROG (FM)	20	~54.000MHz: アマチュア無線
028	55.490	PROG (FM)	10	時事通信社株式市況 1
029	56.210	PROG (FM)	10	時事通信社株式市況 2
030	59.345	PROG (FM)	5	防災無線
031	60.470	PROG (FM)	10	時事通信社株式市況 3
032	77.100	PROG (WFM)	100	放送大学 (東京)
033	78.000	PROG (WFM)	100	BAY-FM (千葉)
034	78.600	PROG (WFM)	100	FM-FUJI (山梨)
035	79.500	PROG (WFM)	100	NACK 5 (埼玉)
036	80.000	PROG (WFM)	100	TOKYO-FM (東京)
037	80.700	PROG (WFM)	100	NHK-FM (千葉)
038	81.300	PROG (WFM)	100	J-WAVE (東京)
039	81.900	PROG (WFM)	100	NHK-FM (横浜)
040	82.500	PROG (WFM)	100	NHK-FM (東京)
041	84.700	PROG (WFM)	100	YOKOHAMA-FM (横浜)
042	95.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ 1 ch 音声
043	107.75	PROG (WFM)	50	VHFテレビ 3 ch 音声
044	118.10	PROG (AM)	50	羽田/東京Tower
045	119.10	PROG (AM)	50	羽田/東京Approach/Rader
046	126.00	PROG (AM)	50	羽田/東京Departure
047	128.80	PROG (AM)	50	羽田ATIS
048	145.00	PROG (FM)	20	~146.000MHz: アマチュア無線
049	146.90	PROG (FM)	20	~156.000MHz: 消防・救急無線
100	154.450	PROG (FM)	10	簡易業務無線
101	156.000	PROG (FM)	25	~162.000MHz: 国際船舶無線
102	175.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ 4 ch 音声
103	187.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ 6 ch 音声
104	197.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ 8 ch 音声
105	209.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ 10 ch 音声
106	221.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ 12 ch 音声
107	246.800	PROG (AM)	100	~375.000MHz: 航空機UHF帯
108	250.100	PROG (WFM)	100	時事通信社株式市況 4
109	347.700	PROG (FM)	12.5	~362.300MHz: 各警察署活系無線

CH	周波数(MHz)	MODE	STEP(kHz)	備考
110	407.400	PROG (FM)	25	~411.900MHz: 各市町村防災無線
111	411.975	PROG (FM)	25	~414.550MHz: J R各線列車無線
112	439.060	PROG (FM)	25	~440.000MHz: アマチュア無線
113	450.000	PROG (FM)	25	~460.000MHz: タクシー無線
114	465.025	PROG (FM)	25	簡易業務無線
115	439.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ16 ch 音声
116	517.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ20 ch 音声
117	529.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ22 ch 音声
118	541.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ24 ch 音声
119	577.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ30 ch 音声
120	589.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ32 ch 音声
121	649.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ42 ch 音声
122	673.750	PROG (WFM)	50	VHFテレビ46 ch 音声
123	807.500	PROG (FM)	12.5	~832.000MHz: 航空機公衆電話
124	850.050	PROG (FM)	25	~859.000MHz: MCA基地局
125	859.950	PROG (FM)	25	~887.000MHz: 自動車電話基地局
126	903.0125	PROG (FM)	12.5	~905.000MHz: パーソナル無線
127	950.500	PROG (WFM)	100	ラジオたんぱ第2中継波
128	952.500	PROG (WFM)	100	ラジオたんぱ第1中継波
129	1292.460	PROG (FM)	20	~1300.000MHz: アマチュア無線
130	1294.580	PROG (FM)	20	JARL/ビーコン

2) サーチ・バンクー一覧表

BANK No.	BAND	周波数 (MHz)		ステップ (kHz)	受信電波形式 MANU/MODE
		下限	上限		
0	AM放送	0.531	1.602	9	AM
1	FM/TV放送	76.00	107.75	50	WFM
2	VHF/TV放送	175.75	221.75	50	WFM
3	VHFエアーバンド	118.50	135.90	50	AM
4	UHFエアーバンド	225.00	400.00	100	AM
5	144MHzアマチュア無線	144.00	146.00	20	FM
6	430MHzアマチュア無線	430.00	440.00	20	FM
7	救急・消防無線	146.10	150.50	10	FM
8	国際船舶VHF	156.00	157.45	25	FM
9	自動車電話	870.025	884.975	12.5	FM

D-2 AR2700のおもな仕様について

- 受信周波数範囲 530kHz~1300MHz
- 表示周波数範囲 100kHz~1300MHz
- 受信電波モード AM、NFM、WFM、PROG
- 受信感度

0.53~2.0MHz	AM :	10 μ V
2.0~10MHz	AM :	1.2 μ V
10~400MHz	AM :	0.8 μ V
	NFM :	0.5 μ V
	WFM :	6 μ V
400~1000MHz	NFM :	0.7 μ V
	WFM :	6 μ V
1000~1300MHz	NFM :	1.5 μ V

(AM : 10dB S/N、NFM : 12dB SINAD、WFM : 30dB S/N)
- 周波数ステップ AM/NFM : 5kHz、6.25kHz、9kHz、10kHz、12.5kHz、20kHz、25kHz、30kHz、50kHz、100kHz
WFM : 50kHz、100kHz
- メモリー数

チャンネルメモリー	: 500チャンネル (10バンク×50チャンネル)
サーチメモリー	: 10チャンネル
バス周波数メモリー	: 50チャンネル
プライオリティメモリー	: 1チャンネル
マニュアルメモリー	: 1チャンネル
- スキャン・サーチ・スピード 約30 ch / sec Max.
- アンテナ・インピーダンス 50 Ω / BNC
- 音声出力 110mW (6V 10% THD 8 Ω)
- 消費電流 95mA (待ち受け時)
140mA (50mW時)
- 電源電圧 4.8V (ニッカド電池)
6.0V (乾電池)
9.0~16V (外部電源)
- 動作保証温度範囲 0℃~50℃
- 表示方式 液晶 (LCD) 表示
- 外形寸法 (突起物含まず) 64 (W) × 153 (H) × 39 (D) mm
- 重量 (アンテナ、電池含まず) 230g (付属ニッカド電池含む 310g)
- 付属品 ACアダプター、カーアダプター、単三形ニッカド電池 4本、ロッドアンテナ、取扱説明書、保証書

※ 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

D-3 故障かな? と考えるまえにチェックする項目について

受信機の調子が悪い場合、修理に出す前に、もう一度次の点を確認してください。それでも故障と思われるときは、お買い求めの販売店、または弊社までご相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電池が消耗している	・充電するか、電池を交換する ・ACアダプターを使用する
受信しない	スケルチ調整が誤っている	・スケルチ調整を正しく行う (→P.6)
受信が途切れる	交信局の電波が弱い	・[MONI] キーを押す (→P.7) ・受信する位置を移動してみる
	アッテネータ機能がはたらいていない	・アッテネータ [ATT] を解除する (→P.10)
音がおかしい	誤った受信モードで受信している	・受信モードを正しく選ぶ ・受信モードをプログラムモード <PROG> にする (→P.12)
ときどき音が切れる	プライオリティ機能がはたらいている	・プライオリティ機能を解除する (→P.22)
キーを押しても動作しない	キーロックがはたらいている	・キーロック機能を解除する (→P.7)
周波数が入力できない	受信周波数範囲でない周波数を入力している	・周波数の単位を確認して周波数を入力し直す (→P.12)
サーチができない	スケルチの調整不良	・スケルチ調整を正しく行う (→P.6)
スキャンができない	該当するメモリー・チャンネルがない	・スキャン条件を確認する (→P.19)
	すべてのチャンネルがバスされている	・チャンネルバスを解除する (→P.21)
充電しない	カーアダプターのヒューズが切れている	・ヒューズを交換する



D-4 アフターサービスについて

◆保証書

保証書は、必ず「販売店、購入年月日」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りいただき、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

◆保証期間

お買い上げの日から1年間です。

◆保証修理を依頼されるとき

◎保証期間中のとき

おそれ入りますが、お買い求めの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

◎保証期間が過ぎているとき

お買い求めの販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

◆アフターサービス等についてご不明の点は

お買い求めの販売店、または弊社にお問い合わせください。

◆保証免責事項

おそれ入りますが、次のような場合は保証期間中でも保証修理を免責させていただきます。

◎内部の調整部分などを、お客様が不当な調整、修理、または、改造をした場合。

◎EEPROMの動作主要部分の内容（SYSTEM部）を変更され、それが原因で動作不良を起こした場合。

◎ご使用状態における破損、落下などによる故障、および損傷。

◎火災、塩害、ガス害、粉塵、異常電圧などの災害や地震、風水害、落雷などの自然災害による故障、および損傷。

◎弊社保証規定に合わない場合。

